

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 04290194 A

(43) Date of publication of application: 14.10.92

(51) Int. Cl

G07G 1/12

G06F 15/21

(21) Application number: 03055023

(71) Applicant: FUJITSU LTD

(22) Date of filing: 19.03.91

(72) Inventor: KAWAMURA KOICHI
YAMAGISHI TATSUAKI

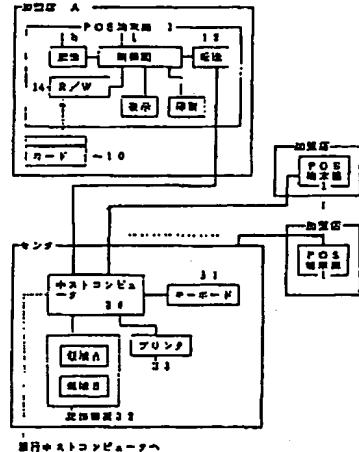
(54) TRANSACTION SCORE SYSTEM USING
STORAGE CARD

(57) Abstract:

PURPOSE: To prevent the allotment control operation at a member store from becoming complicate.

CONSTITUTION: This is a POS system used for a union composed of plural member stores and issue points are controlled by using cards having a storage function; and a host computer 30 stores limit points of issue corresponding to the purchase amounts of the member stores A, store by store and a POS terminal equipment 1 rearranges sent information, store by store, subtracts issue points from the limit points, and calculates and records the remaining limit points.

COPYRIGHT: (C)1992,JPO&Japio



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平4-290194

(43) 公開日 平成4年(1992)10月14日

(51) InLCl.⁵

識別記号 庁内整理番号
321 M 8921-3E
340 Z 7218-5L

F 1

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平3-55023

(22)出願日 平成3年(1991)3月19日

(71)出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

(72)発明者 川村 晃一

神奈川県川崎市中央

富士酒株式会社内

(72) 春明者 山崖 董昭

由岸 浩祐
神奈川県川崎市中

神奈川県川崎市中原区中原1-10-36
富士通株式会社内

(3) 代理人 参照上 並據 旨一

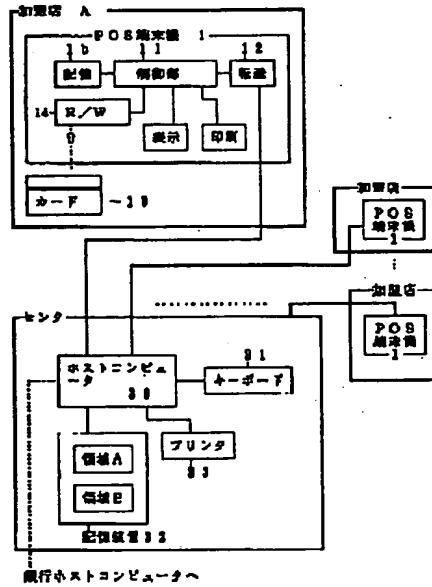
(54) 【発明の名称】 記憶カードによる取引点数管理システム

(57) 【要約】

【目的】 加盟店の負担金管理作業を煩雑にしないことを目的とする。

【構成】 本発明は、複数の加盟店により組織される組合等において使用されるPOSシステムで、記憶機能を持つカードで発行点を管理するとともに、ホストコンピュータにて、複数の加盟店毎に加盟店の購入額に応じた発行可能な限度点数を予め記憶し、POS端末機が送信の情報を加盟店毎に整理し、発行点には該限度点数から減算して残りの限度点数を算出記録するよう構成する。

本発明の実施例のプロック



た発行点数から当該顧客が受納した点数を減算する機能、当該記憶カードに書き込まれた発行点と、サービス点が識別可能な情報を送受する機能を備えている。

【0013】ホストコンピュータは該POS端末機に回線を介して接続されており、前記複数の加盟店の毎に、当該加盟店が購入した金額に相当する発行可能な限度点数を予め記憶する記憶機能と、前記POS端末機から送信してきた情報を加盟店毎に整理し、発行点については該限度点数から減算して残りの限度点数を算出記録し、サービス点については一定期間毎の累計を独立して算出記録する機能とを少なくとも有している。

【0014】さらに、第二発明として加盟店を指定して発行可能な点数を入力する手段を設けると共に、該ホストコンピュータは、入力手段で入力された限度点数を、上記記憶機能が記憶している該当する加盟店の限度点数に累計する機能を設ける。

【0015】また、更にホストコンピュータは、一定期間毎に限度点数を出力し、発行点数が限度点数を越えて貸越し状態の場合、貸越し状態を示す情報を表示出力せしめる手段を備える。

【0016】

【作用】本発明によれば、限度点数をセンタが記憶し管理している。従って、発行点数の累計がこの限度額を越える場合には、組合よりアラームを発生することができるうことになる。

【0017】また、限度点数は、加盟店毎に発行点を購入した場合に限度点数を累計更新する様にしているので、事前購入方式をとることができて、店毎に公平となる。さらに、組合側に担保金の貯蓄が発生するので、大型店舗の発行店の過剰事態が生じても、小売店の救済がこの組合貯蓄から可能となる。

【0018】また、定期的な精算は必要はなく、残高の管理になる為、発行点数が限度点数をオーバーし残高がマイナスとなった時のみ、マイナスとなった加盟店にのみ通知することで足りる。

【0019】さらに、隨時、加盟店が限度点数を更新できるので、会計期の異なる加盟店同士であっても、管理が容易である。

【0020】

【実施例】図1は本発明の実施例のブロック図である。図中、10はカードであり、顧客の会員コード情報、残高点数等が記憶されている。尚、このカードとしては、磁気カードでも良いし、メモリやマイコンを内蔵した所謂ICカード出会っても良い。

【0021】1はPOS端末機であり、各々異なる加盟店に配備され、商取引を行う所謂金銭登録機と考えてよい。POS端末機1は、カード10に記憶されている情報を読み取り、又、記憶情報を更新する為のリーダライタ14が設けられる。又、1日分の取引の情報、特に本発明に関して言えば、顧客に発行した発行点数、顧客に

サービスしたサービス点数を各取引毎に記憶する外部記憶装置1bを備える。外部記憶装置としては、フロッピディスク等である。

【0022】顧客が、商品を購入した時、現金とともにカード10を提示する。店員は、商品の登録処理を公知の金銭登録機の方法で処理するが、カード10をリーダライタ14に押入する。

【0023】制御部11は処理結果である買上合計額に応じて、例えば100円5点の割合等の、買上金額に比例した点数を発行してカード10に記憶する。この時、カード10に既に発行点数が記憶されている場合は、記憶済の点数に今回買上げた額に対応する点数を累計加算して、記憶を更新する。また、この時、顧客がサービス累計点数のサービスを要求するならば、制御部11は図示されない表示器にカード10から読みだした累計の発行点数を表示して、顧客に確認した後、サービスに見合った点数（サービス点という）をPOS端末機1に設けられたキーボードから入力させて、制御部11で、カードに記憶されている点数から差引処理する。

【0024】一方、制御部11は、今回の取引の買上金額に比例した発行点数と、サービスしたサービス点数とを外部記憶装置1bに格納する。以下1日が終了する間これを繰り返す。これにより、外部記憶装置には、1日分の各取引明細即ち、発行した発行点数と、サービス点数が格納されることとなる。

【0025】一日の終了業務として、店員が、POS端末機1のキーボードから制御部11を起動して、ホストコンピュータ30への転送指示を発する。POS端末機1の転送制御部12は、外部記憶装置1bに記憶されている、各発行点と各サービス点を読み出し、これらのデータに、POS端末機1が設置されている加盟店のコードを付加して取引明細情報としてホストコンピュータ30に転送する。

【0026】ホストコンピュータ30は、記憶装置32、プリンタ30、キーボード31が接続されている。また、ホストコンピュータ30は、各加盟店のPOS端末機1から送信してきた情報を加盟店毎に整理し、発行点については記憶装置32が記憶する限度点数Cから減算して残りの限度点数を算出記録し、サービス点については記憶領域Dを使用して一定期間毎の累計を独立して算出記録する機能とを少なくとも有している。

【0027】ホストコンピュータ30は、前述した取引明細情報を処理するが、その前にシステムとして次のことが行われる。即ち、各加盟店は、センタが設けられている組合に対して、従来のスタンプ券や、サービス券を組合から購入するのと同様にして、発行点数を事前に購入する。この購入された発行点数は、キーボード31から組合の係員によって入力される。

【0028】キーボード31から、組合から加盟店への発行点数の情報として、加盟店コードと購入点数が入力

【図1】

本発明の実施例のブロック図

